



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫

「スカイツリー」

『文芸春秋』に「東京スカイツリー3・11の奇跡」(六月号)という記事が載った。建築中のスカイツリーは地震の揺れに最も弱い状況にあった。現場にいた誰しもが激しく狼狽した。立ってられないほどの強い揺れだったからだ。目の前のデジタルメーターが、あと二十センチでその日のゲイン塔の引き上げ完了という時だった。着工から二年八ヶ月。最終段階にして最重要、最難関の工程に差し掛かっていた。その時、緊急地震速報が司令室に鳴り響いた。直後、ぐらりと大きな揺れが襲った。立てないほどの強い揺れであった。おそらくは作業員の誰しもが最悪の事態を想起した瞬間だったろう。六百三十四メートルという世界一のタワーができあがるには、多くの想定が考えられた。その一つはM8.6の巨大地震だ。長周期地震動や内陸直下型地震にも耐えられる、国交省が規定する基準を大きく超えるハードルであった。それに二千年に一回起きるかという超暴風、瞬間最大風速百十メートル毎秒にも倒壊、崩壊しないように設計した。そのために日本古来の工法、五重の塔に見られる新柱が採用された。周りの構造とは切り離された格好の柱のことで、それだと木造の高建築でも倒記録がほとんどないのだ。その新柱がゲイン塔にあたる。地震直後、彼らはただちに作業を中断し、第二展望台まで避難した。大林組特殊工法部の担当者の笹原は「揺れが収まったあと、設計部門とともに、タワーの状態を確認しました。幸いなことに、タワーにもゲイン塔にも大きな問題は一切なかった。それは自らがかわる。巨大構造体」への信頼を一層強くした瞬間でもあった。地震三日後から作業再開となったが、ゲイン塔のリフトアップは何の障害もなく進んだ。三月十九日は位置の調整をする日だった。設計の指示では中心点のズレの許容範囲は約六センチで二階建ての家屋の高さで言えば〇・六ミリの誤差だという。角度計やGPSを用いての実際の作業では二センチ以下だった。最後まで人が人もなかった。設計者、技術者、作業員、延べ五十八万人の日本の職人のものづくりの精神の結集、それがスカイツリーなのであった。

ヨハネは「あなたがたの知らないかたが、あなたがたの中に立っておられる」(一・26)と言う。私たちの信仰生活にも予期せぬ地震が起こり、それによつてもの見事に私たちは吹き飛ばされてしまう。でも、地震の最中でも、主イエスが新柱となつていて以上、倒れることはない。その主にすがっている限り、その主が私たちを支えているからである。大震災のただ中にも「ひとり立てり」(文語訳)というお方が私たちの主であることを心に留めようではないか。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

